

2024年度学校評価 自己評価及び学校関係者評価

平素より、皆さまには幼稚園の教育活動に対して、ご理解とご協力いただき心より感謝申し上げます。2024年度より、本園は認定こども園へと変わりました。皆さまには、色々ご負担をおかけしたかと思いますが、おかげさまで、2024年度も無事に終えようとしています。

さて、12月に実施しましたアンケートでは、保護者の皆さまから大変良い評価を受けることができ、恐縮しながらも嬉しく感じておりました。これに慢心することなく、ますます、子ども達の成長のために励み、よりよい教育・保育を実現していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本題となりますが、学校教育法に基づき2024年度学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を実施いたしましたので、ここに公表いたします。

本園の教育目標

キリスト教が示す神の愛と、神から与えられた命の尊さを知り、感謝し共に生きる喜びを味わい、愛と自由と希望に生きる主体的で豊かな人間性を養うことを目指す。

<理想とする子ども像>

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. 「光の子ども」 | 光の持つ優しさ、強さ、ゆたかさ、輝きをもつ子ども |
| 2. 「人を愛する子ども」 | 自分と同じように人を愛する子ども |
| 3. 「自分でできる子ども」 | 自分のことは自分でやり、最後まで頑張る子ども |

1. 24年度重点的に取り組むことが必要な評価項目

1. 施設の修繕

現在、園舎が古くなってきているので、修繕が必要な個所の修繕をして、園児たちや保護者の方々に、安心して利用してもらえる環境を整備します。

2. 保育環境の充実

園内にある古い玩具を処分して、子どもたちの身体的・社会的発達を促すために、子どもたちの年齢や発達に応じた玩具を揃えます。

3. 教職員の研修会参加と保育内容の点検

教職員は自己研鑽により、園児たち達がその子どもらしく成長する姿を支える力を養います。具体的には、教職員は様々な研修会を通して、幼児教育・キリスト教保育の専門的な知識を身につけます。

4. 幼稚園と保護者間の事務的やり取りの負担軽減

保育業務支援ツールを導入し、幼稚園事務員や保護者の方々の事務的なやり取りの負担を軽減します。

2. 学校評価の具体的な目標や取り組み方

項目	内 容
1	老朽化した調理室の全面改修、認定こども園への移行をした園を周囲に知らせるための看板設置工事、園舎の柱や外壁の塗装工事を行います。
2	園内研修として、玩具の研修を行います。子どもたちが玩具で遊ぶことで、身体的・社会的に成長する姿を想像しながら、本園に必要な玩具を揃えます。

3	24年度も引き続き、教職員は、北私幼・全日私幼・文科省・キリスト教保育連盟主催の研修（オンラインを含む）に積極的に参加します。教職員は、保護者に研修内容を共有して、自身の得た知識のアウトプットの場とします。
4	保育業務支援ツール「パピーナ」を導入し、保護者の方々がアプリ内で、時間外保育の予約をできるようにします。また、ICカードによる登降園時間の打刻記録に基づいた利用料の算出など、幼稚園事務職員の負担を軽減します。

3. 重点項目の評価

[●・・・実施した具体的な内容 / ◎・・・●に対する自己評価]

1	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の修繕を以下のように実施しました。 調理室改修・・・R6.7.24～8.14 看板設置工事・・・R6.11.2～11.9 外壁塗装工事・・・R6.10.28～11.3 ◎ 24年度は、調理室改修、看板設置工事、外装塗装工事を行いました。2024年度より、本園は認定こども園へと移行し、毎日給食を提供することとなりました。そのため、毎日調理室を使用することになるので、衛生管理をより徹底できるように、調理室を改修いたしました。また、認定こども園へと移行した幼稚園であることを周知するため、園舎の外壁に掲げられた看板を「岩内幼稚園」から「認定こども園 岩内幼稚園」へと新しくしました。それに伴って、外壁塗装工事も行いました。園舎外壁の柱に錆が出ていましたが、塗装をしてこれからも長く使えるように整備しました。 24年度の整備は、認定こども園移行に付随して行いました。調理室も大変綺麗になり、合わせて食器類も新しいものを購入しました。園舎の外観もキレイになって、子どもたちもより明るい気持ちで幼稚園に登園できるようになったのではないかと思います。24年度の整備で、何よりも子どもたちの安全がさらに守れるようになったと考えます。これからも皆さまには安心して本園に通ってもらえるように、改修が必要な箇所を発見次第、整備をしていきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 園内研修「年齢別・発達に応じた玩具の紹介と遊びの実践」を行いました。 日程・・・10/26（土） 場所・・・岩内幼稚園ホール・シーブ組 講師・・・ハンズオントーイキンダーリーブ 杉本英樹店長・杉本信子さん 内容・・・乳幼児、2歳～3歳、年少、年中、年長向けの玩具の紹介 子どもたちとの遊び方の実践 ◎ 小樽のヨーロッパ玩具のお店「ハンズオントーイキンダーリーブ」の杉本英樹店長と杉本信子さんにお越しいただき、園内研修を行うことができました。子どもたちが落ち着いて遊べる玩具や練習をして技を磨くスキルトイを中心に、玩具の紹介から子どもたちとの遊び方について学ぶ機会を持ちました。研修をきっかけに、筒けんセット、皿回しセット、アーチレインボー、レーナモザイクセット、グラパッドセット、ホルツステッキ、ロンディ、コマ等を購入し、子どもたちが遊びやすいように、整理棚におもちゃを整理しました。 本園では、子どもたちが自分から上達したいと願って、自主的に練習を重ねる意欲を引き出す玩具を揃えています。筒けんや皿回しやコマなど、練習しないと満足に遊べない玩具ですが、めげずに練習を重ねる子どもたちの姿があり、色々なことに挑戦し続ける粘り強さがこれからも育ってほしいと願っています。また、今回、レーナモザイクセットやホルツステッキ、ロンディなど、子どもたちが自分の作品を完成して楽しむ玩具も多く揃えました。作品を完成させる楽しさを感じ、想像力を働かせて一つの作品に仕上げる意欲を高める玩具です。沢山の玩具を揃えた後、幼稚園での自由遊びの時間での子どもたちの遊びに少し変化が見られたように思います。24年度の園内研修は、職員間で玩具に対する考え方を共有する良い機会となりました。これからも、玩具を通して成長する子どもたちの姿を思い浮かべながら、教職員も子どもたちと一緒に遊びたいと思います。

<p style="text-align: center;">3</p>	<p>● 2024年度 研修会報告</p> <p>6/22 キリスト教保育連盟 北海道部会講習会「キリスト教保育 はじめての気持ちで」 講師:尚絅学院大学教授 東義也氏 参加者:高橋・大場・手塚・磯部・井家</p> <p>8/1 北海道私立幼稚園協会 北海道私立幼稚園研究大会 【一人ひとりの「こどもがまんなか」を守る質の高い幼児教育を】 講師:箕輪 潤子氏 「現在の幼児教育について考える～子どものくらしと遊びから～」 川田 学氏 「2歳児および3歳児の発達と保育」 参加者:手塚</p> <p>8/8 キリスト教保育連盟後志地区研修会 夏期研修「こどもの人権について」 講師:藤女子大学 吾田富士子氏 参加者:金澤・高橋・大場・手塚・磯部・井家</p> <p>10/5 北海道私立幼稚園協会 北海道私立幼稚園教育研究大会「ICTを活用した働き方改革」 講師:北海道安平町教育委員会教育長 井内聖氏 参加者:高橋・大場・手塚・磯部・井家</p> <p>10/26 認定こども園岩内幼稚園園内研修「年齢別・発達に応じた遊びの研究」 講師:キンダーリープ店長 杉本英樹氏 参加者:教職員全員</p> <p>12/23 北海道保育協議会 キャリアアップ研修「マネジメント研修」 参加者:磯部</p> <p>11/30 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 「子どもの未来を育む食育の重要性」 講師:京都女子大学副学長、副栄養クリニック長 中山玲子 参加者:高橋</p> <p>1/7 キリスト教保育連盟北海道部会 幼児教育セミナー「今こそキリスト教保育を」 講師: 日本基督教団霊南坂教会牧師 後宮敬爾氏 参加者: 金澤・高橋・大場・手塚・磯部・井家</p> <p>1/10 キリスト教保育連盟後志地区研修会 冬期研修 研究テーマ【さあ、漕ぎ出そう 奏でよう】 「今日も楽しかったと言える保育・絵本と遊びとわらべ唄」 講師: 絵本とおもちゃの専門店「ろばのこ」創業者 北広島かおり幼稚園保育アドバイザー 藤田春義氏 参加者: 金澤・高橋・大場・手塚・磯部・井家</p> <p>※R6.10.21 幼稚園教諭一種免許資格取得 高橋・大場 ※R6.12.29 子育て支援員研修修了 坂本 ※R6.11.7 食品衛生責任者養成講習会修了 高橋 ※R7.3.1 子育て支援教育カウンセラー研修修了 手塚</p> <p>◎ 2024年度も教職員一同、現地参加、ZOOM、オンデマンド等を利用して学びの時を持ちました。幼稚園教諭としてのスキルアップを目指して、新しい時代の幼児教育の現状と課題を理解し、実技等の習得に努めます。</p>
<p style="text-align: center;">4</p>	<p>● 幼稚園と保護者間の事務的やり取りの負担軽減のため、以下のことを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全クラス、主幹教諭、事務職員に新しいパソコンを支給 ・園舎全館のWi-Fi完備 ・保育業務支援ツール「パピーナ」を導入 ・北洋銀行ネットバンキングのサービス利用開始 ・幼稚園から保護者への連絡方法の変更（安心メールからパピーナアプリへ） ・パピーナアプリでの時間外保育の予約開始 ・登降園時間の打刻記録に基づいた利用料の自動算出 <p>◎ 24年度は、北海道よりICT導入補助金をいただき、教職員にパソコンの支給や園舎全館Wi-Fi完備などのネットワーク環境の整備をしました。さらに、保育業務支援ツール「パピーナ」を導入し、保護者への連絡や園のお便りの送受信がアプリを通して行えるようになりました。また、保護者はアプリを通して、時間外保育の予約が出来るようになりました。そして、現在、登降園時間の打刻記録に基づいた利用料の自動算出まで実現しています。24年度になって、認定こども園への移行やパピーナ導入などで、変更点が多くなってしまい、保護者の方々にはご迷惑をおかけしてしまう場面も多くあったと思います。25年度からは、パピーナアプリに利用料の請求書が届き、口座振替にて利用料の引き落としまで行えるようになる予定です。24年度には、実施に移せず、申し訳ございませんでした。今後も、試行錯誤しながら、少しずつでも幼稚園と保護者間の事務的やり取りの負担をさらに軽減できるように努力いたします。</p>